

— 連載 —  
 わがまちの  
 歴史再発見

13  
 六万墓(大桑地区)



市内には先人から受け継がれてきた貴重な歴史資産が多くあります。わがまちの身近な歴史を再発見し、未来へつないでいきましょう。

関生涯学習課文化財調査室 TEL3290008

美濃国守護土岐氏の居城であった大桑城。その城下の谷筋をふさぐように造られた四国堀の近くには、現在「六万墓」と呼ばれる大きな石碑が建っています。今から約480年前に大桑城で大きな戦いがありました。その当時、美濃国で力を持ち始めていた斎藤道三が、主である土岐氏の居城、大桑城を攻めたのです。

石碑は後世に建てられたものとされていますが、この場所は戦いの後に多数の戦死者の骨が埋められ、南泉寺住職の仁岫宗寿が焼香を行った場所と伝わっています。六万という数は定かではありませんが、それほどの激しい戦いだったのでしょうか。

現在、大桑の地に静かに建つ六万墓の石碑ですが、そこには、戦国時代に生きた人々の熱い思いが眠っています。  
 ※今月号から連載タイトルを変更しました。

岐阜連携都市圏を知ろう！ ②5

住み続けたくなるまち 岐阜連携都市圏を目指して

岐阜市、羽島市、山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町および北方町では、岐阜連携都市圏を形成しています。このコーナーでは、5市3町のことを知っていただくため、各市町のおすすめ情報をお届けします。

今月は、笠松町を紹介します。

—— 笠松町のおすすめ情報 ——

笠松隕石最中&オリジナル隕石スイーツ

特徴的な赤いパッケージの中に真っ黒な四角い最中が詰まった「笠松隕石最中」。その名のとおり、笠松に落ちた隕石をモチーフとしたお菓子です。笠松菓子組合の7店舗が約1年をかけて開発し、昨年10月から販売を開始しました。

最中は組合の各店舗で購入することができ、さらに、まんじゅう・せんべい・シュークリームなど各店舗オリジナル隕石スイーツも展開しています。笠松町にお立ち寄りの際は、ぜひご賞味ください！

関笠松町役場企画課 TEL058-388-1113



◀最中やスイーツの  
販売店について



昭和13年に  
 笠松町内の民家に  
 落下した笠松隕石  
 (笠松町歴史未来館で  
 レプリカを展示中)